
目次

.....

【1】 --- 教員コラム第 12 弾 第 9 回「六十の手習」

研究開発・質管理向上統合センター/特任教授 伏木信次

.....

【2】 --- [1/31(木)開催 図書館セミナー]

アクセプトされやすい論文とは？～国際査読誌への論文投稿講座

.....

【3】 --- どこでも図書館！シボレス認証(学認)で利用できます～

「European Journal of Pediatric Surgery」を追加しました

.....

【4】 --- [予告] 平成 30 年度第 3 回企画展示

<Japanese locus ノーベル賞>展 開催します

.....

【5】 --- Ebook Central メンテナンス

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記に替えて

【1】 --- 教員コラム第 12 弾 第 9 回「六十の手習」

研究開発・質管理向上統合センター / 特任教授 伏木信次

.....

白洲正子はエッセイの中で自らの友人の言として、「六十の手習とは、六十歳に達して、新しくものをはじめることではない。若い時から手がけて来たことを、老年になって、最初からやり直すことをいうのだ」と書いている。

さて古希を控えた私にとっては「六十」ではなく「七十の手習」と言うべきだが、昔から関心をもちつつも十分に学ぶ機会を作ることができなかった美術史の学びを、数年前から少しずつ再開している。

ここではドイツの美術館で昨夏間近にみる機会を得たテーマに関連した或る事象を紹介し話題としたい。そのテーマは「受胎告知」で、これは西洋絵画史の中で、時代を超えて多くの画家がエネルギーを注いだテーマの一つと言える。「受胎告知」の絵画では通常、大天使ガブリエルがマリアのもとを訪れて二人が対峙する場面が描かれる。新約聖書「ルカによる福音書」1 章 26 節から 28 節にある簡潔な記載に典拠があるが、その記事をもとに画家

は想像力を大いにふくらませて実に多様な絵画作品に仕上げている。

美術史家宮下規久朗氏によると、15世紀末の説教者フラ・ロベルト・カラッチョロ・ダ・レッチェは、受胎告知の場面におけるマリアの反応を次の4つに分類した。大天使の突然の来訪に対する「戸惑い」、大天使の「おめでとう恵まれた方」という挨拶は一体何のことなのかと考え込んだ「省察」、大天使から「生まれる子どもをイエスと名付けなさい」と告げられ、「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんの。」と大天使にたずねる「問い」、そのあと、大天使から「神にできないことは何一つない。」と言われ、「お言葉どおり、この身になりますように」と言って告知を「受け入れ」た場面の4つである。たとえばロレンツォ・ロットの「受胎告知」では天使の到来に驚いた聖母が手を挙げて逃げ出そうとしている「戸惑い」の場面、エル・グレコの「受胎告知」（倉敷・大原美術館蔵）では、マリアが手を挙げて天使を見つめる「問い」の場面、カラヴァッジョの「受胎告知」では、聖母が胸の前で腕を交差させる「受け入れ」の場面が描かれている。

この観点から「受胎告知」を見ると幾つもの発見があるが、私は、人生の時間軸としては全く正反対に位置づけられる「死」に直面した人の反応との比較を試みた。それは精神科医エリザベス・キューブラー・ロスの『死ぬ瞬間』（1969年刊行）で提起された、死が避けられないと知ってから亡くなるまでの過程、すなわち死へのプロセスにみられる5段階の反応である。すなわち、自分が不治の病にあるという事実を認めたくない「否認」、なぜ今、自分が死ななければならないのかという「怒り」、患者が周囲や神に何とかして便宜を図ってもらおうとする「取引」、この世との永遠の別れに対する苦悩に起因する「抑うつ」、そして自分の死の「受容」である。

人知を超えたところにある「生（受胎や誕生）」や「死」に対して、人が示す反応・姿勢には、歴史を超え国境を越えて、アナロジーを見いだせるように思えるのである。

過去の教員コラムは[こちら](#)です。

【2】 --- [1/31(木)開催 図書館セミナー]

アクセプトされやすい論文とは？～国際査読誌への論文投稿講座

.....

来る1月31日(木)に、論文投稿講座を開催します。本学で契約している SCOPUS を活用して、論文情報の調査や戦略的な投稿雑誌の選び方など、国際誌に論文を投稿する際に知っておきたいコツをお話します！

本学学生・教職員はどなたでも参加可能。御自身や研究室の生産性を高める上で、有用な機会となりますので是非御参加ください。

日時 : 2019年1月31日(木) 18:00~19:00
場所 : 図書館 AV ルーム
講師 : エルゼビア・ジャパン株式会社 高石雅人氏
対象 : 本学教職員、大学院生及び学部学生
申込 : 不要
内容 : 投稿から出版の流れ
 先行研究を調査する
 適切な投稿先の検討
 発表した論文のプロモーション
 出版倫理
 共著形態と研究インパクト
 研究 output の外からの見えよう
ポスター : [こちら](#)
担当 : 情報リテラシー教育担当 (日詰)

**【3】 --- どこでも図書館！シボレス認証(学認)で利用できます～
「European Journal of Pediatric Surgery」を追加しました**

.....

～御自宅や出先から、大学の契約電子コンテンツに、簡単アクセス～
小児外科学教室で購読している冊子「[European Journal of Pediatric Surgery](#)」誌に今年からオンラインが付与され、同時アクセス無制限で全学利用させていただけることになりました。
学内者は、シボレス認証「学認」にて、学外から閲覧することも可能です。
アクセスマニュアルは[こちら](#)
契約中の電子ジャーナルやコレクションが学外からアクセス可能か否かは
図書館 HP>電子資料>[EJ/Ebook コレクション](#)にて確認できます。

**【4】 --- [予告] 平成 30 年度第 3 回企画展示
＜Japanese locus ノーベル賞＞展 を開催します**

.....

■期間 : 2019年1月23日(水)～2月6日(水)
■場所 : 附属図書館 1 階 特設展示コーナー

昨年ノーベル医学・生理学賞を受賞した本庶佑先生の「免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用」を始め、日本人が受賞したノーベル賞の功績は色々なところで生かされています。そんな受賞者の著書や人となりにふれてみませんか。

<自然科学部門>は府立医大図書館の所蔵からピックアップしています。[貸出可]

<文学書・平和賞部門>はは京都府立図書館からの取寄せ資料です。[貸出不可]

【5】 --- Ebook Central メンテナンス

ProQuest 社の[電子ブック](#)が、以下の日程(日本時間)でメンテナンスを予定しています。

・ 2019年1月20日(日) 12:00~20:00

メンテナンス中は、[Ebook Central プラットフォーム](#)を利用できません。

御不便をおかけしますが、御了承ください。

[Book Review]

P.G.ウッドハウス 『比類なきジーヴス』(国書刊行会 2005)

平成最後の皇后陛下お誕生日に際し、美智子皇后が宮内記者会への御回答にて積ん読を明かされ、一部界限で話題を呼んだジーヴスシリーズの一作目。(文春文庫は「ジーヴズ」なので国書刊行会のものを積ん読されている、原書を読まれるに決まってるでしょといった論争が生まれた。)

登場人物がとにかく皆個性的で魅力に溢れることもさることながら、ウィットに富んだ内容が抱腹絶倒(惹句)とはいかないまでも面白い。

主人公バートラム・ウースターに若干の親近感を覚えるとともに、(言葉通りの)独身貴族を(ジーヴスのお陰で)能天気にごせる姿には羨望の念を禁じ得ない。

(京都府立図書館所蔵「K-Libnet」で貸出が可能です)(T.K.)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4336046751>

※「K-Libnet」は2018年4月から始まった京都府内公共図書館等との相互貸借サービスです。詳しくは[こちら](#)をどうぞ

.....
図書館メール News 第 379 号 2019.1.18 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>